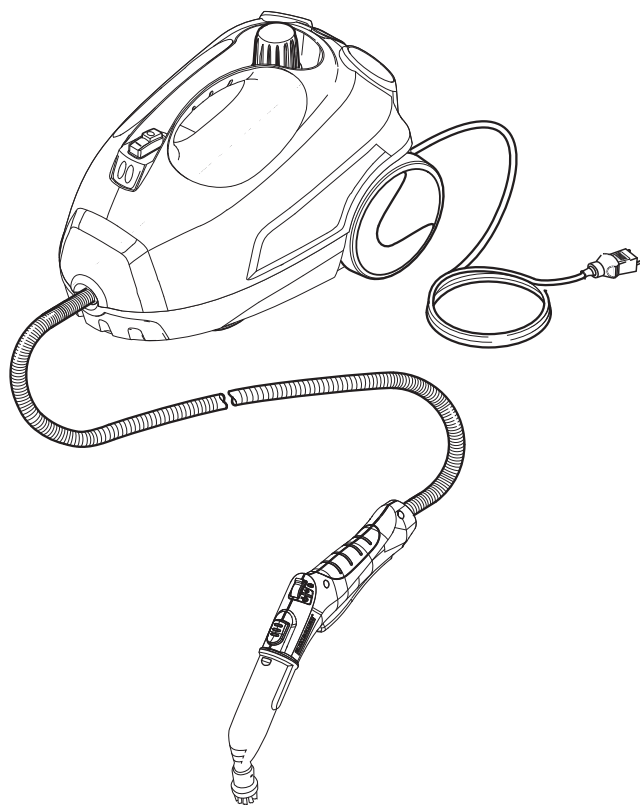
ケルヒャー家庭用スチームクリーナー

SC 1020
取扱説明書

SC 1020 / 2013.09

5.964-874.0

はじめにお読みください　「仕様一覧」

■この度は、ケルヒャー家庭用スチームクリーナーをお買い上げいただき誠にありがとうございました。
ご使用前に取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。
お読みになられた後は、本書をすぐに取り出せる場所に保管してください。
※この製品は業務用ではございません。
※この製品は組み立てが必要です。
※この製品はテスト後出荷されているため、水分が多少残っている場合がございますが、製品の性能に問題はございません。

SC 1020　仕様一覧	
電源	100V 50／60Hz 共用
ヒーター出力	1,500W
スチーム吐出圧力	0.32 MPa　(※1)
安全弁作動圧力	0.4MPa　(※1)
ボイラー加熱温度	139℃
ボイラータンク容量	1.0リットル
ヒートアップタイム(加熱時間)	約6分　(※2)
寸法(長さ×幅×高さ)	380×254×260mm
質量(本体のみ)	3.0Kg
＜交換時間＞	(※3)　(※4)
安全バルブ用Oリング	約200時間(約200回使用)
安全バルブ	約500時間(約500回使用)
本体寿命	約1000時間(約1000回使用)
定格使用時間	1時間(※5)

※1　1MPa＝10.2kg f／cm²
※2　水温20℃の際の仕様
※3　作業累計時間
※4　1回の作業で1時間使用した場合の回数
※5　定格使用時間＝電源スイッチが入っているときの合計時間

はじめにお読みください

各部の名称と機能

■スチームレバーロック

ロック解除

ロック

■アクセサリーロックボタン

■O リング

■延長パイプ

■スチームレバー
レバーを握ると
スチームが吐出
します。

■ロックボタン

■ブラシ

■ノズルヘッド
先端にブラシを取り付ける
ことができます。

■クロス

■フロアノズル

はじめにお読みください

組み立て前の部品一覧

※本機をご使用いただく前に、全ての付属品がそろっていることをご確認ください。
※仕様変更により製品の形状と図が一致しない場合があります。

◎ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この取扱説明書と製品への表示では、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定されている内容」を示しています。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されている内容」を示しています。

の記号は「してはいけないこと(禁止)」を示しています。

の記号は「必ず実行してほしいこと」を示しています。

洗浄は自己責任で行うこと

万一洗浄対象物に損傷、破損、変色などが生じた場合、もしくは正しく操作をせずにケガを負った場合、当社では一切の責任を負いません。

ご使用時の注意点

子供には触らせないこと

ケガをする恐れがあります。

改造禁止

火災、感電、ケガの原因になります。
ケルヒャー純正部品以外の、機械の性能や機能に適さない部品を取り付けて使用しないでください。

火気のそばに置かないこと

本体が変形し故障や火災につながる恐れがあります。

ぬれた手で電源プラグを触らないこと

感電する恐れがあります。

本体、電源プラグに水をかけないこと

感電やショートする恐れがあります。

スチームを人体に向けて使用しないこと

ヤケドの原因になります。

異音、異臭、過熱時は直ちに使用を中止すること

本体の異常を感じたら直ちに使用を中止し、点検・修理を依頼してください。

雨天時に野外で使用したり、水を本体に直接かけたりしないこと

絶縁、劣化により感電やショートの恐れがあります。

スイッチを入れたまま電源プラグを抜かないこと

感電する恐れがあります。

汚染された可能性のある場所を洗浄する場合はマスクなどの適切な防護具を身に着けること

汚染物質が飛散し人体に悪影響を生じる場合があります。

修理はケルヒャー ジャパン本社修理センターに依頼すること

個人の修理で生じたケガ、事故、不具合に関しては一切の責任を負いません。
補修部品の販売はいたしかねます。

フロアノズル逆にして使用しないこと

下向きにするとパイプ部分が外れ、スチームが漏れてヤケドを負う恐れがあります。

⚠電気に関する警告

タコあし配線はしないこと

複数の電気製品（パソコン・電子レンジ・ドライヤーなど）を同じコンセントで使用した場合、電源ケーブル、コンセントや屋内配線の過熱につながり、火災を引き起こす恐れがあります。

コードを引っ張らないこと

引き抜くときは先端のプラグを持ってください。コードが損傷すると、感電やショートを起こし火災を引き起こす恐れがあります。

電源プラグは確実に差し込むこと

コンセントに接続した際にゆるみ、ガタつきがある場合、製品や電源プラグ、屋内配線の過熱につながり、発火を引き起こす恐れがあります。

電源プラグが変形している場合は使用しないこと

電源プラグが変形していたり、電源プラグの歯が曲がっている場合は、製品や電源プラグ、屋内配線の過熱につながり、発火を引き起こす恐れがあります。

本製品は1500W 仕様です

他の電気製品と同じコンセントを共用できません。
洗面化粧台のコンセントでは使用できません。

交流100V 単相電源専用

異種電圧で作動させた場合、火災の恐れがあります。
ラベルに記載された電源でご使用ください。

延長コードは15アンペア仕様を使用し、10m以上延長しないこと

規格以下の延長コードを使用した場合、製品や延長コード、屋内配線の過熱につながり、火災を引き起こす恐れがあります。15 A 以上の規格のものを最長10mでご使用ください。

コードリールは完全に伸ばして使用すること

コードリールのコードを巻いたまま使用すると、コードリール、製品や延長コード、屋内配線の過熱につながり、火災を引き起こす恐れがあります。

ご使用時の注意点

故障時に安全バルブが作動することがあります

スチームクリーナーには安全装置としてボイラー圧力が高くなるのを防ぐための圧力逃がし弁が安全バルブに組み込まれています。
万一の故障時や定期メンテナンス不備によるボイラー内部へのスケール付着などによりボイラー内部の圧力が異常に高くなった場合、安全バルブの圧力逃がし弁が作動し蒸気を勢いよく上方に吹き上げます。
絶対に安全バルブの上で作業を行ったり、近づいたり、覗き込んだりしないでください。ヤケドの恐れがあります。

安全バルブは使用中触らないこと

使用中は絶対に安全バルブの上に手を当てたり、覗き込んだり、外したりしないでください。
ボイラーが故障した場合スチームを噴出する場合があります。

安全バルブを開ける場合は、十分冷めてから行うこと

安全バルブは本体が人肌以下まで冷却された後開けてください。
熱い状態で開けた場合湯が噴き出し、ヤケドの原因となります。

安全バルブの O リングを確認すること

電源を入れる前に確認をしてください。
O リングに亀裂、割れなどがある場合は絶対に使用しないでください。

５００作業時間ごとに定期点検を実施すること

例： 1日に合計2時間程度使用する場合、半年を目安に有償点検の実施が必要です。

点検を実施しない場合安全バルブからスチーム吐出、ボイラーの加熱不良、過熱、スチーム吐出不良などのさまざまな不具合が生じ、安全作業ができなくなります。
また、点検を実施しない場合蒸気が噴出しヤケドをする恐れがあります。
点検を依頼してください。

作業場所から離れる場合はスイッチを切ること

使用方法を知らない方が操作された場合、ケガをする恐れがあります。

常温水を使用すること

湯を入れた場合、機器が正しく作動せず、ヤケドを負う場合があります。
安全上必ず常温水を使用してください。

⚠注意

アクセサリー接続口の O リングが装着されていない、もしくは損傷している場合には使用しないこと

スチームがもれてヤケドの原因となります。

クロスクリップに指を差し込まないこと

クロス脱落防止のためクリップは鋭くなっています。
指を差し込まないでください。

本体を倒したり、立てた状態で使用、また保管したりしないこと

ボイラーが損傷する場合があります。

ガラス製品に傷がある場合は洗浄しないこと

割れる場合があります。

水以外の液体は絶対に使用しないこと

溶剤 (シンナーなど)、油 (ガソリン、灯油など)、アルカリイオン水、酸性水などを使用しないでください。使用した場合本体が壊れる場合があります。水道水のみで使用してください。

洗剤や薬品を入れないこと

洗剤や薬品を入れた場合、ボイラーの破損、薬品火傷、健康に悪影響を及ぼす場合があります。
水道水のみでご使用ください。

スチームホースを無理に引っ張ったりねじったりしないこと

スチームホースが損傷します。

ご使用時の注意点

⚠注意

アクセサリーは確実に取り付けること

確実にロックされていない場合スチームがもれ、ヤケドの原因となります。

手袋などの保護具を着用すること

作業時は手などに直接スチームがかかる場合や、汚れがはね返る場合がありま す。ヤケドやケガの防止のため適切な保護具を身に着けてください。

ガラス製品、窓ガラス、鏡の掃除には注意すること

●２秒以上同じ場所にスチームをあてないでください。
●ワイヤー入りガラス、厚板ガラスの掃除は特にご注意ください。
ガラスの膨張率の違いにより割れる場合があり、ケガをする恐れがあります。

洗浄前に材質を確認すること

洗浄の前に必ず洗浄物の材質を確認してください。
スチームは９９℃近い温度で出ます。
洗浄部分の材質によっては変色・変形など洗浄物を傷める恐れがあります。
目立たない部分で試してください。

レバーロックをかけること

アクセサリーの着脱はレバーをロックした状態で行ってください。
ロックしていない場合スチームレバーに誤って触れスチームが噴出しヤケドを負う場合があります。

本機は使用５０時間ごとにボイラー洗浄 (スケール除去) を行うこと

スケール（ 湯あか ）がたまると故障の原因となり、安全弁が作動する場合があります。
必ず純正ボイラー洗浄剤（ スケール除去剤 ）を用い定期的にボイラーの洗浄 (スケールの除去) を行ってください。

水を排出、補給する場合は冷却後に行うこと

必ず本体が人肌以下に冷却された後安全バルブを外し排出、補給を行ってください。

凍結する場所には保管しないこと

凍結した場合、ボイラーが故障します。

違和感や熱いと感じたら

スチームレバーを握り続けて使用すると低温ヤケドを負う場合があります。
違和感や熱いと感じたら、直ちに使用を中止してください。

◎ボイラー洗浄剤 (スケール除去剤) について ※オプション

名称	RM 511 ボイラー洗浄剤 (スケール除去剤)
用途	スチームクリーナーのボイラー洗浄 (スケール除去) 用
成分	スルファミン酸、マレイン酸、L 酒石酸
液性	強酸性
内容量	9 本

使用上の注意

■吸入飲用不可：人体に害があるので飲まない、吸引しないこと
■皮膚の弱い人はかぶれる恐れがあるので、保護手袋を使用すること
■子供の手の届かない所に保管すること

■用途以外には使用しないこと
■使用方法およびスチームクリーナーの取扱説明書をよく読んで使用すること
■湿度、凍結を避け、冷暗所に保管すること

応急処置
●飲み込んだ場合は、口の中をすすいでください。直ちに医師の診断を受けてください。
●目に入った場合は流水で１５分以上目を洗ってください。症状がある場合は医師の診断を受けてください。
●皮膚に付いた場合は大量の水と石鹸で洗い流してください。
●薬品を吸い込んだ場合は新鮮な空気を吸い、体を休ませてください。

保管方法
●湿度、直射日光や高温、凍結を避けて保管してください。

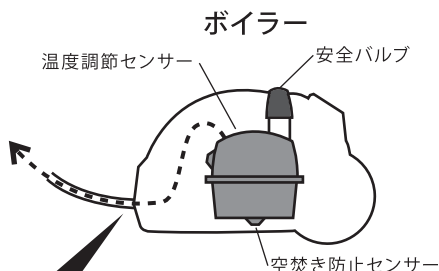
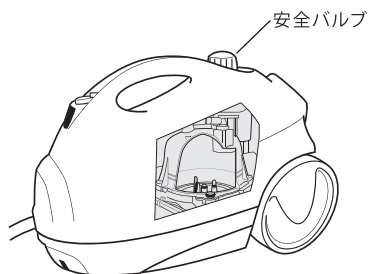
パッケージ
●プラ：カバー、PVC
●紙：台紙

スチームクリーナーとは？

スチームクリーナーとは？

スチームクリーナーは圧力鍋としくみが似ています。
水を入れ、密閉したボイラーで約１３９℃まで熱し、スチームを発生させます。

吐出されるときの温度は約９９度と高温でさらっとしたスチームが特徴です。
油汚れなど温めると落ちやすい汚れに効果的です。
水分が少ないのでおうちの中のさまざまな場所でお使いいただけます。
※熱に弱い材質、壁紙、プラスチックなどは変形・はがれなどの恐れがあります。
　目立たないところでお試しすることをお勧めします。

スチームクリーナーの基本の仕組み

安全設計４つのポイント

温度調節センサー

ボイラー内の温度が一定温度に達すると加熱を止め、温度が下がると再度加熱を繰り返すので異常加熱の心配がありません。

空焚き防止センサー

タンク内の水が無くなると、自動的に加熱を停止します。

安全バルブ

ご使用中は、給水部分を開けることができない安全設計です。

手元スイッチ

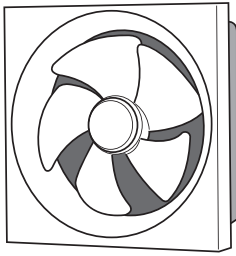
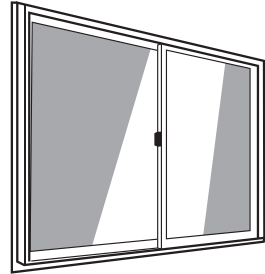
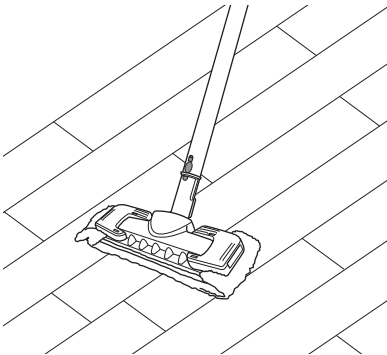
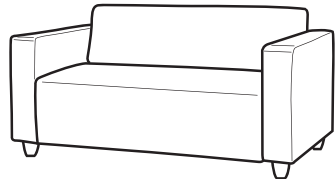
手元のレバーを握ってスチームを出します。レバーを離すとスチームも止まるので安心です。

あると便利

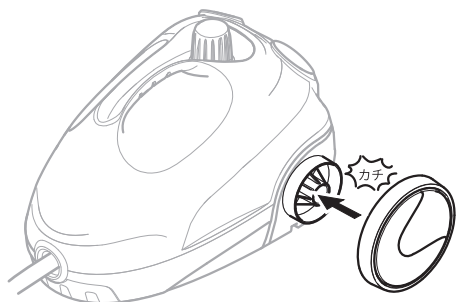
手袋
ホースやレバーが熱く感じる時

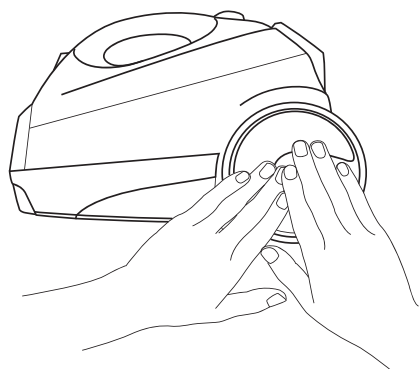
雑巾、雑布
スチームで溶かした汚れをふき取る時

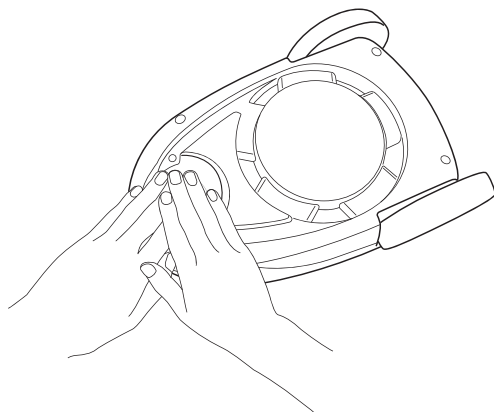
家中さまざまなところに使えます。

お台所のガスコンロや、
換気扇の油汚れのお掃除に

窓ガラスやサッシの
お掃除に

フローリングや畳の
お掃除もラクラク

ソファや車のシートなど
布製品のしみとりに

高温スチームの除菌能力について

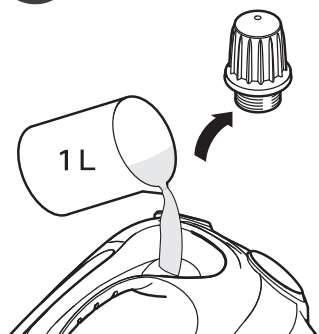
菌液を滴下後、乾燥させたプラスチック板およびステンレス板にケルヒャースチームクリーナーにハンドブラシとカバーを着用し、１０秒間噴霧したところ、除菌効果が確認されました。(財団法人日本食品分析センター調べ)

組み立て方　「ホイールとキャスターの取り付け」

2 キャスターを本体に取り付けてください

ホイールが固いときは

両手で、カチと押す。

キャスターが固いときは

裏返して両手で、パチンと力を入れて押し込みます。
本体を裏返す時は、本体にキズが入らないようにタオルなどを敷きましょう。
通電や給水はしないでください。

準備しましょう 「給水」

③ 水を入れましょう

安全バルブを取り外し、水（30℃以下 ）を最大 1.0 リットルまで**ゆっくり**と補給してください。
水を入れすぎると、スチームが水っぽくなり、湯がでます。

最低使用給水量： 0.5リットル
最大使用給水量： 1.0リットル

ヒント： 1合（180cc）のお米カップなら5回分で約1リットルです。

⚠ 注意

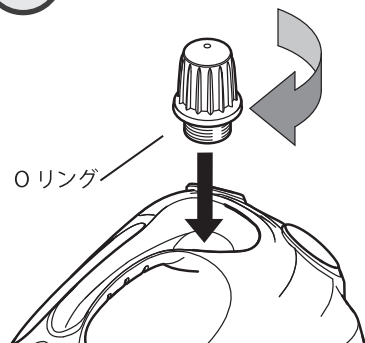
■常温水を使用すること

■水以外の液体は絶対に使用しないこと
溶剤 (シンナーなど)、油 (ガソリン、灯油など)、アルカリイオン水、酸性水などを使用しないでください。使用した場合本体が壊れる場合があります。
水道水のみで使用してください。

■スイッチを切ってから給水すること
水を入れる際は、安全のためにスイッチを切り、コンセントを抜いてから入れてください。

■安全バルブは必ず本体が冷めてから開けること

■本体が熱いうちは水を入れないこと
ヤケドを負う場合があります。

④ 安全バルブをしめる

O リング

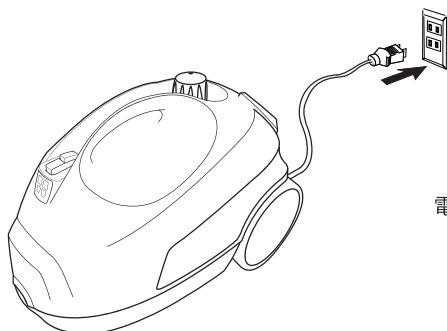
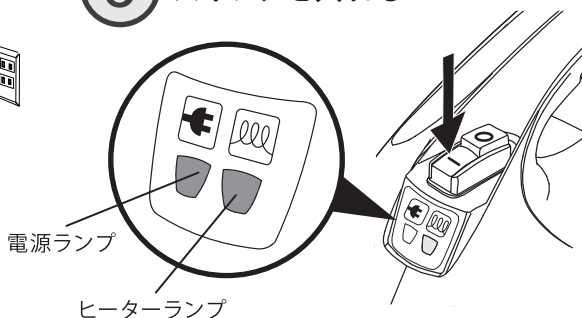
安全バルブの O リングに異常がないことを確認し、安全バルブを取り付けてください。
O リングを外した場合は装着部位の溝に戻してください。

※加熱を始めると安全バルブは空回りして開けることができません。
本体が人肌以下に冷めると再び開けることができるようになります。

注意

■安全バルブの O リングを確認すること
給水ごとに確認をしてください。
O リングに亀裂、割れなどがある場合は絶対に使用しないでください。

注ぎ口の水はタオルなどで拭い取ってください。
水が注ぎ口に残っている場合、加熱を始めた際に蒸気となり、スチームもれと間違う場合があります。

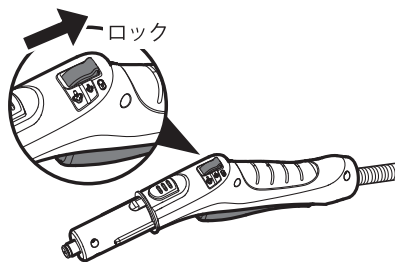
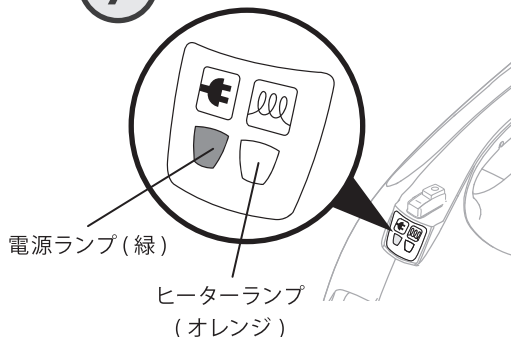
準備しましょう 「電源とヒートアップ」

ヒーターランプは点灯と消灯を自動で繰り返します。

スイッチを押すとヒーターランプが点灯加熱が始まり、ボイラー内が 139℃に達すると自動的に加熱を停止、ヒーターランプが消灯します。
スチームを出すとボイラー内の温度が下がるため、点灯と消灯を繰り返します。

電源を入れる前に、ボイラー内に給水してください。

本製品は1500W仕様です。

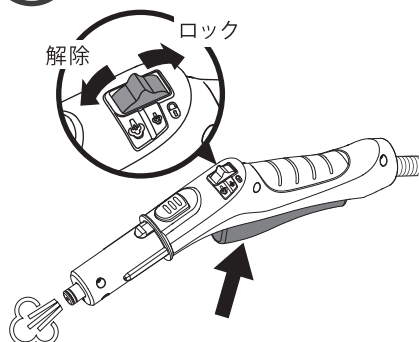
■他の電気製品と同じコンセントを共有できません。
■洗面化粧台のコンセントは使用できません。

電源を入れる前に、必ずスチームレバーをロックしてください。

⑦ 約6分

約6分後ヒーターランプ(オレンジ)が消灯した後、使用を開始することができます。
ヒーターランプが消えても、スイッチを切らないでください。

※加熱時間は水温により異なります。

⚠注意

■**作業を始める時、中断した場合**
洗浄作業を行う前に、必ず布などに向けてスチームホース内の湯を出し、スチームが出るのを確認してから洗浄を行うこと
作業を中断(約1分以上)した場合、スチームホース内に湯がたまり、再度使用する際にノズルから吹き出る場合があります。

■**本体を倒したり、立てた状態で使用しないこと**
ボイラーが破損する場合があります。

⑧ スチームを出す

スチームレバーロックを前方にスライドさせロックを解除します。

スチームレバーを握ると、スチームを出すことができます。

ロック
使用しない時、アクセサリーを交換する時は必ずロックしてください。

スチーム弱
スチームを弱くできます。

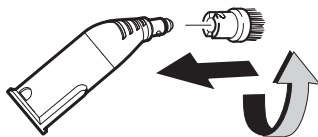
スチーム強
スチームが出る量が最大

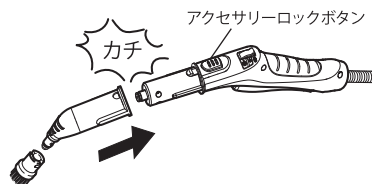
ヒント
スチームの出が安定しない時は、30秒ほどスチームレバーを握ってください。

9 必ずスチームレバーのロックをして付け替えましょう。

サッシ
タイルのカビ
キッチンや
換気扇の
油汚れ

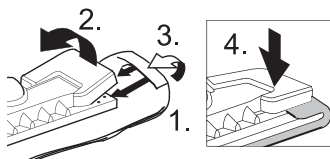
ノズルヘッド+ブラシ

<ブラシの取り付け方法>
ノズルヘッド先端部の爪とブラシの刻みを合わせて差し込み、時計回りに回して固定します。

<取り外し方法>
ブラシを反時計回りに回し、引き抜いてください。

<ノズルヘッドの取り付け方法>
カチと音がするまで差し込みます。

<取り外し方法>
アクセサリーロックボタンを押しながら引き抜きます。

畳
フローリング
カーペット

フロアーノズル＋延長パイプ

※クロスクリップに指を挟まないこと

<取り外し方法>
クロスをフロアノズル幅にたたみ両側をクロスクリップで挟みます。

※フロアノズルの使用方法については P24 をご覧ください。

「スチームの温度は噴き出し口で約９９℃です。材質や耐熱温度によっては
使用できない場合があります。予め目立たないところでお試しください。」

サッシ

サッシレールの砂ぼこり、汚れはブラシをつけてこすります。細い溝の汚れはノズルヘッドで吹き飛ばします。

ガスレンジ周り

換気扇

換気扇やガスレンジにこびりついた汚れは、ブラシにクロスを巻き付けてスチームを出しながらこすります。
ブラシにクロスを巻きつけて使用すると、洗浄対象物を傷めません。
汚れに洗剤をつけてから行うとより効果的です。

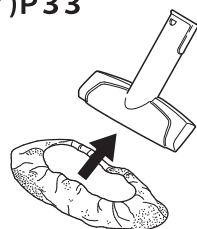
畳・カーペット・フローリング

フロアノズルにクロスを取り付け、スチームでクロスを温めて汚れを拭き取ります。
＜ヒント＞
スチームを出し続けるとクロスがぬれてきますので
①スチームレバーを3秒程握りクロスを温めます。
温まるとレバーを放して3秒程拭いて
この手順を繰り返します。
②スチームの吐出量が多い場合は、スチームレバーロックを
弱にしてスチームの量を調整してください。
③クロスがぬれてきた場合はクロスを交換してください。

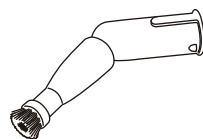
使い方

「きれいにする場所に合せてアクセサリーを選びましょう」

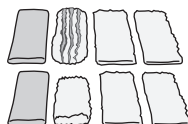
ソファー
網戸
レンジフード
車のシート

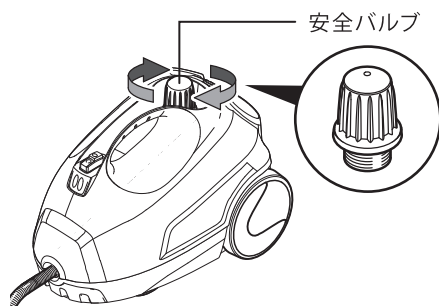
ハンドブラシ+カバー(別売オプション)P33

ハンドブラシにカバーを付けてやさしくなぞります。同じ場所に長く当てず、動かしながら使います。クロスがだんだん汚れてくるので交換しながら使いましょう。

サッシ
タイルのカビ
キッチンや
換気扇の
油汚れ

スチームターボブラシ(別売オプション)P33

ポイントブラシ先端が小刻みに振動するため、汚れをこする必要がありません。通常のブラシよりも、洗浄時間を50%短縮できます。

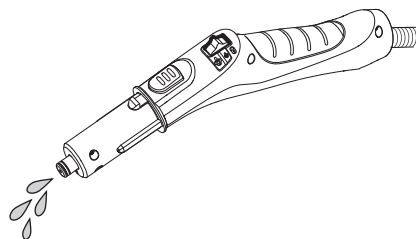
キッチン
お風呂

マイクロクロスセット(別売オプション)P33

マイクロクロスファイバーは繊維がクロスの表面に無数の空間を作り、その空間に水分、汚れ、油分等を吸収し他に汚れを移さず、普通の繊維で落ちない汚れを洗剤なしで簡単に落とすことが出来ます。

安全バルブの空回りについて

本体が熱いときは、安全のため、安全バルブのふたを開ける事ができません。
安全バルブは、必ず本体が冷めてから開けてください。

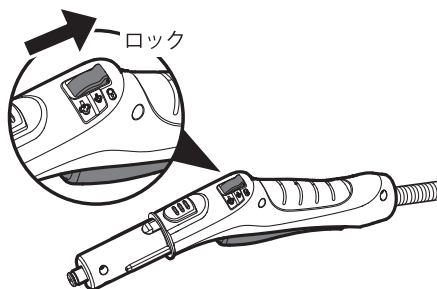
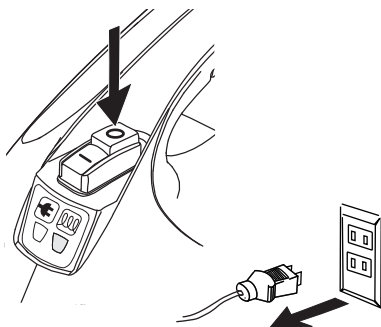
熱いうちに水を補給するのは危険です。安全バルブが開いても、スイッチを切り本体がひと肌程度に冷めるまで待ってから給水を行ってください。

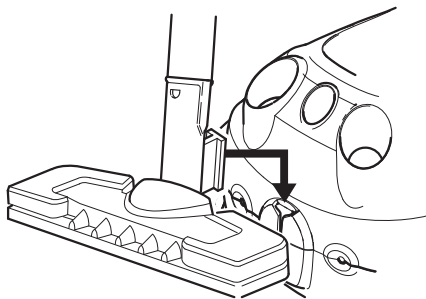
本体が熱いうちに給水すると、お湯が噴き出しヤケドする場合があります。

使い始めの注意点

使い始めは、お湯が出ます。洗浄を始める前にレバーをひと握りし、しっかりスチームが出る状態になってから必要なアタッチメントを取り付けましょう。
特に床掃除の時などは、それが原因で床がびしょびしょになってしまう事もあります。

使い始めだけでなく、しばらく経っても水分が多めのスチームが出る場合は、水を入れすぎている可能性があります。
計量して1リットル以上入れないようにしましょう。

作業を中断、終了する場合

スチームレバーロックを後方にスライドし、ロックしてください。

スイッチを押して電源を切り、電源プラグを抜く

作業を終了する場合は、本体が人肌以下に冷却された後、ボイラーに残った水を捨ててください。
※ボイラーが冷却されるには、約1〜4時間程度かかります。

本体が熱いうちは、安全バルブが開いても水を入れないでください。
水を入れる際には、安全のためにスイッチを切り、コンセントを抜いてから入れてください。

作業を中断する際、フロアノズルを本体後部のフロアノズルフックに差し込み、本体に立て掛けることができます。

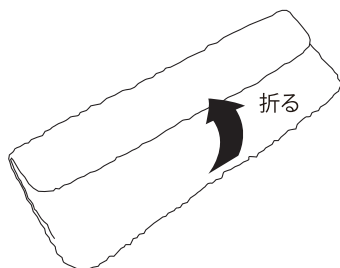
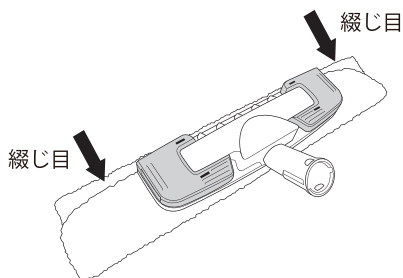
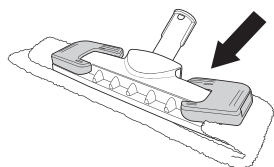
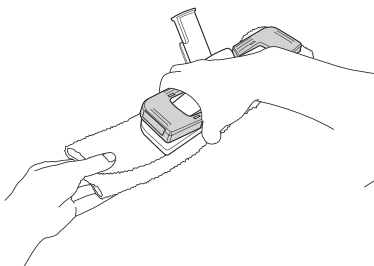
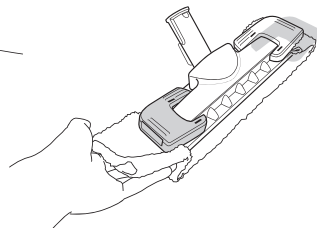
注意

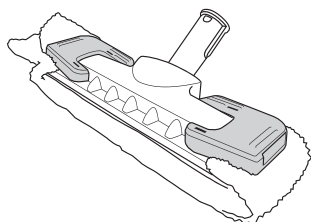
■**作業を中断した場合(約1分間以上)**
再び洗浄作業を行う前に、必ず布などに向けてホース内の湯を出し、スチームが出るのを確認してから洗浄を行うこと。

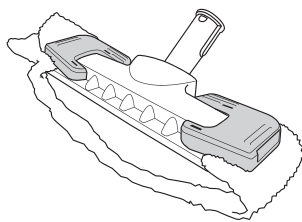
■作業を中断(約1分以上)した場合、スチームホース内に湯がたまり、再度使用する際にノズルから噴き出る場合があります。

スイッチを切った後、全てのランプが消えていることを確認してください。

⑫ クロスの上手な取り付け方

フロアノズルのクロスクリップを上げ、三つ折にしたクロスの片方を挟み、
クリップを下げる。もう片方のクロスの端をひっぱりながら固定クリップに挟み固定する。

クロスをフロアノズルのサイズに
合わせて3つ折りにする

綴じ目をフロアノズルの底面側
にする

押すとクリップが上がる

クロスの端を引っ張り、
クロスを張った状態にする

なるべく緩まないようにクロス
をクリップに押し込みながら
挟む

良い例

装着したクロスに緩みが無い

悪い例

クロスが緩んでいる
緩みがあるとよれ易い

注意

クロスクリップに指を差し込まない様に注意すること
クロスクリップ部分は、
クロスが脱落しない
ように鋭くなっています。

⑬ 本体のお手入れ

⑭ ボイラーのすすぎ (使用10回ごと)

スケール (湯あか) の付着を予防するために、ボイラーをすすいでください。

ぬるま湯か中性洗剤を浸した柔らかい布を固く絞って拭き取ってください。

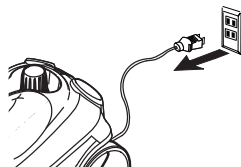
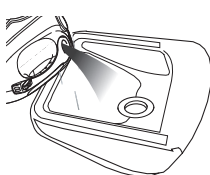
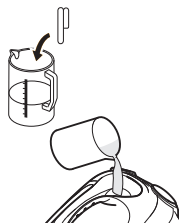
使用したカバー (ハンドブラシ用) やクロス (フロアノズル用) は、中性洗剤で洗い、乾かしてください。

すすぎの目安：使用10回ごと

使用を重ねていくとボイラー内部にスケール (湯あか) が付着し、温度が上がりにくくなります。また、スケールの付着は、故障の原因にもなります。
定期的なお手入れでスケールの付着を防ぎ、安全にご使用ください。

すすぎ方

①スイッチを切って電源プラグをコンセントから抜き、本体を人肌以下に冷やしてください。
②安全バルブを外し、ボイラーに残っている水を全て捨ててください。
③ボイラーに水を入れ本体をよく振り、その後水を捨ててください。
この動作を 3 回繰り返してください。
すすぎが不十分な場合故障の原因となります。
※水がこぼれないようにご注意してください。
※本体カバーの端などでケガをしないように十分ご注意ください

⑮ ボイラーの洗浄方法

電源を抜いてください

タンクに残っている
水を捨てる

ボイラー洗浄剤を
溶かしてタンクに
注ぐ

８時間放置
※加熱しないで
ください

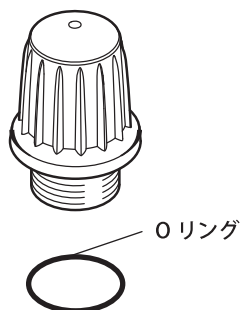
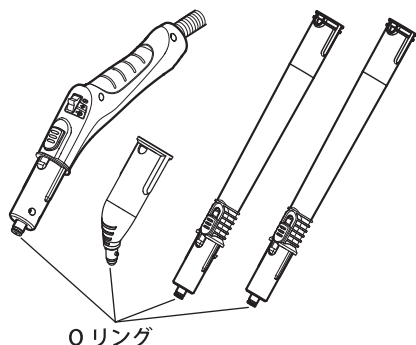
---

①ボイラー内をすすいでください。
②ボイラー洗浄剤 (スケール除去剤) を1.5本用意してください (スティックは簡単に折れます。)
③容器に1.0リットルのぬるま湯を用意し、ボイラー洗浄剤 (スケール除去剤) を入れ、
溶かしてからボイラーに注いでください。
④安全バルブを外した状態で約８時間放置してください。
⑤８時間後ボイラーの水を捨て、清水で3回以上すすいでください。
　すすぎが不十分な場合故障の原因となります。
⑥安全バルブを閉めてください。
⑦室内に保管してください。
※余ったボイラー洗浄剤 (スケール除去剤) は、湿気のない場所で保管してください。
※水がこぼれないようご注意ください。
※本体カバーの端などでケガをしないように十分ご注意ください。

ボイラーの洗浄は５０回毎または、ボイラー内に湯あかが付着した時に洗浄してください。

注意

■お手入れをする場合には必ず機械が冷めた状態で行うこと
■スイッチを切り、電源プラグを取り外した状態で行うこと

⑯ 安全バルブと O リングの交換

安全バルブの O リングに異常がないことを確認してください。
O リングを外した場合は装着部位の溝に戻してください。

安全バルブ
約500作業時間ごと交換
（作業約500回ごと）

安全バルブ O リング
約200作業時間ごと交換
（作業約200回ごと）

注意

■安全バルブ、O リングが損傷するとスチームもれが発生する恐れがあります。
■規定時間以内でも損傷がある場合は交換してください。

⑰ アクセサリー接続口の O リングについて

アクセサリー（ホース一体型ヘッド・ノズルヘッド・延長パイプ）接続口の O リングが装着されていない、もしくは損傷している場合、新しい O リングを装着してください。

■補修部品のお買い求めは販売店あるいはケルヒャー カスタマーサービスセンターまでお問い合わせください。

⑱ 定期点検について

定期点検

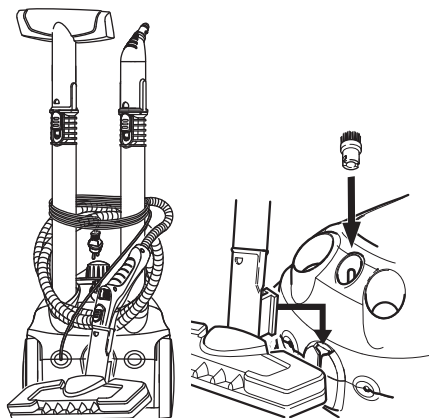
500作業時間後の点検

約500作業時間※（作業約500回）
ごとに有償点検をお受けください。

1000作業時間後の点検

本機の耐用時間は（ ボイラー寿命 ）は、
約1000作業時間※（ 作業約 1000 回 ）
です。

※ 作業時間とは、保温状態の累積時間です。

■点検のご依頼は
お買い求めの販売店、ケルヒャー カスタマーサービスセンターまでお問い合わせください。

注意

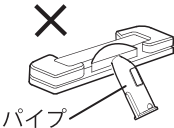
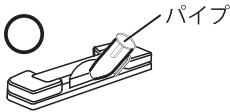
■点検を実施しない場合、安全バルブからのスチーム吐出、ボイラーの加熱不良、過熱、スチーム吐出不良などのさまざまな不具合が生じ安全作業ができなくなります。

■安全に商品をご使用いただくために、作業時間の累積が 500/1000時間を超えたときにケルヒャーサービスエンジニアによる点検をお受けください。

■点検を実施しない場合
蒸気が噴出しヤケドをする恐れがあります。
例： 1日2時間程度使用する場合は半年を目安に有償点検の実施が必要です（安全バルブ、各部品などの交換）。

⑲ 保管方法

アクセサリーホルダーにアクセサリーを収納した後、保管してください。

注意

■保管前に必ずお手入れをすること
■タンクの水を抜いた状態で保管すること
■安全バルブを閉めた状態で保管をすること
■屋内のホコリのかからない、凍結しない場所に保管をすること。
凍結した場合には、自然解凍をしてください。
■本体を倒したり、立てた状態で保管しないこと。ボイラーが損傷する場合があります。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら以下のことをお確かめください。
それでも解決しない場合は、**ケルヒャーカスタマーサービスセンター**まで
お問い合わせください。

このような時	原因	対処法
スチームが出ない	電源プラグがコンセントに接続されていない	▶ 電源プラグをコンセントに接続してください。
	本体のスイッチが入っていない	▶ スイッチを押し、ヒーターランプ（オレンジ）の点灯を確認する。
	水が不足している	▶ 本体が人肌に冷めるのを待って、給水を行ってください。
	細い延長コードを使用している	▶ 15 A 仕様のコードを使用してください。またはコンセントから直接電源を取ってください。
スチームが弱くなる	連続使用でボイラー温度が低下している。	▶ 1～2分作業を中断しヒーターランプ（オレンジ）が消えるまで待ってください。
スチームが水っぽいお湯が出る	作業を開始したとき、中断した場合はスチームホースに湯がたまります。	▶ スチームホース内の湯を布などに向けて排出してください。
	規定量以上にボイラーに給水している	▶ 本体が人肌に冷めるのを待って安全バルブを開け、再度規定量 1.0 リットルを給水してください。
スチームレバーが握れない	スチームレバーがロックされている	▶ ロックを解除してください。
本体下部より水漏れする	ボイラーが破損している可能性がある	▶ 使用をただちに中止し、修理センターで点検を受けてください。

このような時	原因		対処法
安全バルブが空回りして外れない	本体が十分に冷めていない	▶	本体を1〜4時間程度冷まし、それでも外れない場合は、一日おいてから取り外してください。
本体が冷めた状態でも安全バルブが外れない。左に回せない。	ボイラーに残圧が残っている	▶	スチームレバーを握り、ボイラー内の残圧を下げてください。
	安全バルブがきつく閉まっている	▶	力を入れて左に回してください。
安全バルブからスチームが漏れる	安全バルブが閉まっていない	▶	コンセントを抜き、本体が人肌に冷めるのを待って安全バルブを閉めてください。
	安全バルブＯリングが損傷している	▶	Ｏリングが損傷している場合は交換してください。
電源ランプ、ヒーターランプが点灯しない	本体のセンサーがはたらいているまたはランプが切れている	▶	修理センターで点検を受けてください。
ノズルなどの接続が固い	接続部分の Ｏ リングが硬化、または損傷している	▶	接続が固い場合は水をつけるとスムーズに接続できます。硬化損傷の場合は交換してください。
フロアノズルのパイプが外れる	フロアノズルはパイプを下向きにすると外れます × パイプ	▶	フロアノズルのパイプ部分は必ず上向きに使用してください。 ○ パイプ

補修部品

<table>
<tr>
<td>フロアノズル
注文番号：2.885-142.0
JAN コード：4039784401778

従来品に比べ、汚れ除去率が３５％向上しました。</td>
<td>ノズルヘッド
注文番号：4.130-431.0
JAN コード：4039784444645
</td>
</tr>
<tr>
<td>延長パイプ
注文番号：4.127-024.0
※1本での注文番号です。
JAN コード：4039784453395

１本。長さは５０ｃｍ。フロアノズルなどを使用する際、楽な姿勢でお掃除できます。</td>
<td>安全バルブ
注文番号：4.590-105.0
JAN コード：4039784420540
</td>
</tr>
<tr>
<td>延長パイプ、
ホース一体型ヘッド用 O リング
注文番号：6.362-922.0
JAN コード：4002667185829
ノズルヘッド用 O リング
注文番号：6.362-186.0
JAN コード：4002667181494
</td>
<td>安全バルブ O リング
注文番号：6.363-468.0
JAN コード：4039784391277
</td>
</tr>
</table>

オプションアクセサリー

※仕様変更等により商品の形状が図と一致しない場合があります。
※注文番号は予告なしに変更になる場合があります。

<table>
<tr>
<td>
窓用スクイジー
注文番号：4.512-056.0
JAN コード：4039784847590
窓の水滴、汚れを拭い取ります。
※スチームを出すことはできません。拭い取り専用です。</td>
<td>
スチームターボブラシ
注文番号：2.863-159.0
JAN コード：4039784060142
ポイントブラシ先端が小刻みに振動するため、汚れをこする必要がありません。通常のブラシよりも、洗浄時間を５０%削減できます。</td>
</tr>
<tr>
<td>
ブラシ3個組
(赤2個、黒1個)
注文番号：2.863-077.0
JAN コード：4002667358070
お風呂場、台所、トイレなど色で使い分けできます。</td>
<td>
ブラシ(真ちゅう製)3個組
注文番号：2.863-075.0
JAN コード：4002667358063
ブラシの毛の部分が真ちゅうでできており、こびりつきのひどい汚れを落とします。</td>
</tr>
<tr>
<td>
ハンドブラシ
注文番号：2.884-280.0
JAN コード：4039784048065
壁やソファの背もたれなど、壁面のお掃除にカバーを付けてお掃除します。</td>
<td>カバー５枚組
注文番号：6.370-990.0
JAN コード：4002667013122
ハンドブラシ用カバー５枚組のセットです。</td>
</tr>
<tr>
<td>クロス３枚組
注文番号：6.369-357.0
JAN コード：4002667359633
フロアノズル用クロス３枚組のセットです。</td>
<td>
クロスセット
注文番号：6.960-019.0
JAN コード：4002667012576
クロス２枚、カバー３枚のセットです。</td>
</tr>
<tr>
<td>
マイクロクロス(キッチン用)
注文番号：2.863-172.0
JAN コード：4039784169869

マイクロクロス(お風呂用)
注文番号：2.863-171.0
JAN コード：4039784169852
各用途に応じたクロス4枚組のセットです。</td>
<td>

RM 511ボイラー洗浄剤
(スケール除去剤)
スティックタイプ(9本入り)
注文番号：6.290-239.0
JAN コード：4002667014822
ボイラー内部に付着した湯あかを除去します。※使用目安：５０回に1回</td>
</tr>
</table>

保証書

お買い上げいただいたケルヒャー製品に万一不具合が生じた場合には、この保証規定に従い保証いたします。
この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

■保証の内容

お買い上げいただきました製品を構成する純正部品の材料または製造上の不具合が起きた場合、ケルヒャー ジャパン株式会社本社修理センターで無料修理をいたします。
(この無料修理を保証修理といいます。)
保証修理は部品の交換あるいは補修により行います。
また、取り外した不具合部品は弊社所有といたします。
保証修理を受けられる期間は新品を購入した日から1年間とします。

■保証できない事項

●修理の際の輸送費用

●次に示すものに起因すると判定される故障は、保証修理いたしません。
・取扱説明書の指示に反する使用
・保守整備の不備または間違い
・弊社が提示している仕様の限界を超える使用
(規定以上の長さの延長コードを使用した場合の電圧降下など、業務などで定格使用時間を著しく超えた連続使用など)
・弊社が認めていない改造
・純正部品および指定する油脂類以外の使用
・ご使用者の不注意による故障(凍結、ボイラー内への異物混入、落下による故障など)
・業務で使用した場合

●次に示すものは保証修理いたしません。
・経年変化により発生した不具合
・プラスチックカバーなどの自然退色、電源コード、ホースのひび割れ、O リングの劣化、部材劣化に伴う性能低下など
・使用に際し品質、機能上影響のない感覚的現象(音、振動など)
・台風、水害、雪害などの天災による不具合
・薬品、塩害などに起因する不具合

●次に示すものの費用は負担いたしません。
・消耗品(油脂、ノズル、安全バルブ、O リング、パッキン、バルブ、ホース、ブラシ、パット、クロス、およびこれらに類する消耗品)
・お買い上げ販売店以外での修理
・点検、清掃、調整、及び定期点検整備
・この保証書に示す条件以外の費用補修など
・本機を使用できなかったことによる不便さ及び損失など
(休業損失、商業損失など)
・洗浄対象物に損傷、破損、変色などが生じた場合
・正しく操作せずにケガを負った場合

●出張修理はいたしません。
修理はお買い求めいただいた販売店へご依頼ください。

■保証の適用
この保証は日本国内で使用される弊社製品のみに適用されます。
海外へ持ち出す場合は、その時点で保証が抹消されます。

■保証修理の受け方
保証修理をお受けになる場合は、下記保証書の各項目にご記入いただき、お買い上げいただいた際のレシート／納品書を添付の上、保証修理をお申しつけください。
製造番号は、製品の裏側もしくは後部に貼られている銀色のラベルに記載されています。

■保証修理の申し込み方法
ご購入の際に受領されたレシートあるいは納品書と下記保証書を添付の上、お買い上げいただいた販売店にお持ちいただくか、またはケルヒャー ジャパン株式会社本社修理センターまでお送りください。
ご不明な点がございましたらケルヒャーカスタマーサービスセンターまでご連絡ください。
お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

SC 1020	保証期間：1年	製造番号：
お買い上げ日　：　平成　　年　　月　　日		
お客様	ご住所： お名前： 電話：(　　　)　　　ー	
販売店	住所： 店名： 電話：(　　　)　　　ー	
(故障状況)		

ケルヒャー ジャパン株式会社
本　社：〒981－3408　宮城県黒川郡大和町松坂平3丁目2番
TEL：(022)344－3140

ケルヒャーホームページアドレス　http://www.karcher.co.jp

製品に関するお問い合わせ

ケルヒャー カスタマーサービスセンター

0120-60-3140

受付日　：月曜日～金曜日(祝日、当社休日を除く)
受付時間：９：００～12：００　13：００～17：００

修理品送り先

〒981-3408　宮城県黒川郡大和町松坂平 3-2

ケルヒャー ジャパン株式会社

本社修理センター　宛

修理品をお送りいただく際には、３５ページの保証書に故障状況をご記入の上、必ず同梱してください。

１．保証書が３４～３５ページに添付されています。大切に保管してください。
２．保証書の保証内容、保証規定をよくお読みください。
３．保証書は、お買い上げ販売店で必要事項を記入したものをお受け取りください。
４．保証期間は保証書に記載されています。
５．保証期間終了後の修理につきましては弊社ホームページの「修理・アフターサービス」のページ(http://www.karcher.co.jp/jp/Service/support_hg.htm)をご覧いただくか、販売店もしくは上記ケルヒャー カスタマーサービスセンターまでお問い合わせください。